

基本情報						
教科・科目		理系生物	授業で使用するもの			
担当者		古城戸香苗	教科書:数研出版「生物」、数研出版「高等学校生物基礎」 問題集:数研出版「改訂版 リード生物基礎 生物」 資料集:浜島書店「二訂版 ニューステージ生物図表」			
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)	生物学の基本的な概念や原理点法則の理解を深め、ミクロレベルからマクロレベルまで幅広い領域を理解することができる。			
		理解(思考力・判断力・表現力等)	情報を精査し、幅広い知識技能をもって諸問題を解決することができる。			
		探究・献智(主体的に学習に取り組む態度)	生物学的な知識と考え方から科学的に探究する態度を養う。			
学習情報						
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		4編 生物の環境応答 動物の反応と行動	・受容器によって受け取られた刺激が、神経を通じて行動に通じる流れを理解することができる。 ・受容器や神経の構造を理解し、起こる反応機構を説明することができる。	○刺激の受容 刺激を受け取ってから行動までの流れ、受容器(目・耳) ○ニューロンとその興奮 神経の構造、電位の発生の仕組み、伝導と伝達 ○情報の統合 中枢神経の構造、反射	・講義・実験 ・グループ活動	・授業成果物提出
5			・筋肉の構造をもとに、ATPと筋収縮の関係について理解することができる。 ・動物の行動に関する資料に基づいて、行動を神経系の働きと関連づけて説明することができる。	○刺激への反応 筋肉の構造と収縮 ○動物の行動 行動の要因、生得的行動と学習	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
6	定期試験① 令和7年6月2日—6月4日 範囲)動物の反応と行動					
6		4編 生物の環境応答 植物の環境応答	・植物体内での情報伝達では、植物ホルモンが関係し、自らのからだを適切な時期に適切な状態へと変化させることができることを理解する。 ・外界からの刺激を受けた植物が、様々なホルモンを分泌して体内環境を調節していることを説明することができる。	○植物の生活と植物ホルモン 植物の刺激の受容 ○発芽の調節 発芽の機構、光受容体と発芽の関係 ○成長の調節 オーキシンの極性移動、光屈性と重力屈性 ○器官の分化と花芽形成の調節 分裂組織、花芽形成、	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
				○環境の変化に対する応答 気孔の調節、植物の防御応答 ○配偶子形成と受粉 配偶子形成の過程、種子の形成過程	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
7		5編 生態と環境 生物群集と生態系	・生態系における生物同士の関係や人間関係による生態系への影響を理解することができる。 ・生態系における生物同士の関係や人間関係による生態系への影響を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	○個体群の構造と性質 個体群と密度効果、生存曲線と生命表 ○個体群内の個体間の関係 群れと縄張りの関係、社会の構造と分業 ○異なる種の個体群間の関係 捕食と捕食の関係、種間競争・共存、共生 ○生態系の物質生産と物質循環 生態系、生態系の物質生産、物質収支、物質の循環 ○生態系と人間生活 生物多様性、人間活動が生態系に与える影響	・講義 ・実験	・授業成果物提出
7	定期試験② 令和7年7月9日—7月11日 範囲)植物の環境応答 生物群集と生態系					
8		共通テスト演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
9		共通テスト演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
10		共通テスト演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
定期試験③ 令和7年10月20日—10月22日 範囲)履修線範囲						
11		共通テスト演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
12		共通テスト演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
12	定期試験④ 令和7年12月10日—12月12日 範囲)履修全範囲					
1		共通テスト・私立国公立二次演習	・問題を通して既習事項の理解を深めることができる。 ・既習内容を課題の解決に利用することができる。	共通テスト問題演習 私立国公立二次試験対策(既習全範囲)	・講義 ・グループ活動	・授業成果物提出
2						
3	定期試験⑤ 令和8年3月4日—3月6日 範囲)					